

Blog Entry 31 青森の特権

皆さん、こんにちは。サンミです!
先日、十和田湖に行ってきました。
すっかり春になったところですが、
長い冬の間、山に積った雪が解けるのはこれからですよ。
あらゆる所で賑やかな花見が続いている中、
今もこの白い景色を楽しめるのは、青森だけの特権ではないでしょうか。
桜の開花を待ちながら、この雪山を訪れてみませんか？



From Rokkasho with love, Sangmi♡

2013年4月19日

皆さん、こんにちは。サンミです!

すっかり春になりましたね。

少し遅い春のお知らせ、桜が咲くのもあと少しです!

昔は春になると、よく授業をサボって行き先の分からないバスに乗って旅をしました。

公園に行ってぶらぶら歩いたり、自転車に乗って川沿いを走ったり。

まさに「自分探し3級」状態でした。

そんな大学時代が終わって、社会人になってからは、外の景色を眺める余裕もなくなり、春も夏もいつも同じではないか〜と感じていましたが、

青森に来てからは、季節とともに変わってゆく自然の様子を楽しめるようになりました。

最近のような暖かい春には、特に何もしなくても幸せを感じます。

天気のいい日には、窓を開けて外の景色を眺めながら暖かい紅茶でも一杯飲んでみましょう。

きっと心の中にも真の春が訪れるはずです。



From Rokkasho with love, Sangmi♡

2013年4月25日

皆さんこんにちは。番外編担当の野田です。

なぜわたしがブログを書いているかというと、理由はかんたん！

国際交流員のサンミとジェニーがそろって里帰り中だからです。

サンミは韓国へ、ジェニーはドイツへ・・・

ふたりとも今ごろは、ほぼ1年ぶりの母国を楽しんでいることでしょう。

というわけで今日はふたりがいないのをいいことに、彼女たちの紹介をしたいと思います。

まずはサンミ。

ゆるキャラと青森土産で有名な「いのち」を愛する韓国国際交流員。

高校から独学で日本語を勉強して国際交流員になった努力家！

彼女はとてもストイックなひとです。私は彼女の日本語の文章を読んで、

「日本人ならこういう言い方はしないな」という訂正の仕方をしたことがありません。

私「サンミさん！飛行機がとびたつことを日本語でなんて言うっけ？！」

サンミ「離陸だよ。」

・・・この頼もしさに日々支えられています。いつもありがとう。

特に保育所～小学生が対象の韓国講座がとても上手です。



そしてジェニー。

「どうかな～」と「わかりませ～ん」が口癖のドイツ国際交流員。

彼女はとてもタフなひとです。

外国人に日本語を教えて、六ヶ所 World を作って、イベントの準備をしながら、

「野田さん、何か手伝いましょうか」と声をかけてくれます。

今年の8月、国際交流員に着任したばかりの頃にこれからの目標を聞いたら、「日本の社会の一員になりたい」と答えていました。その言葉は本心だったんだなあ～と、

ジェニーと一緒に過ごす日々の中で感じています。いつもありがとう。

ゲームやクイズなどをまじえて楽しく親しみやすくイベントを構成するのが上手です。



うちの国際交流員たちは背はちいさいけどとてもパワフルです！

ふたりの力を最大限に借りながら、

今年度も国際交流事業を頑張っていきたいと思います。

* 国際交流員派遣申込み 随時受け付け中です！ *

文化講座、語学講座、料理教室、その他お気軽にご相談ください。



From Rokkasho with love, Natsuko♡

2013年5月1日

皆さん、ゴールデンウィークは楽しく過ごされましたでしょうか。

私はゴールデンウィークの前の週も休みを取って、久しぶりにドイツに帰りました。

天気がとてもよくて、春の始まりを楽しむことができました。ちょうどその時期に、ドイツの北の方に旅行に行っていた祖母の誕生日だったので、サプライズで母と一緒に3日間同じ所に行くことにしました。祖父に、二人が毎日行く喫茶店に3時にいるようお願いして、突然そこに現れたのです。実は祖母は、誕生日なのでこの日ぐらいは別の喫茶店に行きたかったみたいですが、私たちが来ると分かっていた祖父は、それに一生懸命反対したらしいです。そういう訳で、朝から機嫌が悪かったらしいですが、私達を見て、祖母の表情は急に明るくなりました。そして驚きのあまり、とりあえず大きいアイスを注文しました(次の日、一緒におしゃれな喫茶店に行きました)。最高のサプライズになりました。

出身地のザンクト・アウグスティンとその周辺では、ちょうど祭りや花火があって、高校時代の友達と一緒に遊びに行きました。大学を卒業してから、皆仕事をするようになったけれど、誰も変わっていなくてとても楽しかったです。友達夫婦にこの前赤ちゃんが産まれて、とてもかわいかったです。男性を見るとすぐ泣き出しますが、女性は大丈夫ですから、私と一生懸命テーブルを叩いて遊びました :D



北ドイツ地方にあるかわいい家です！



実家です！

家族や友達と別れる日はちょっと悲しかったですが、東京に着いた途端、六ヶ所村に帰るのが楽しみになりました。お菓子作りのための材料やパンなどでいっぱいのスーツケースを運ぶのはちょっと大変でしたが、なんとか無事に着きました(スーツケースに入れたビールの缶が潰れて、新幹線の中でちょっと漏れましたが。。。:D)。先週末は「たのしむべ！フェスティバル」の花火を見て、その美しさに感動しました。屋台を見るのもとても楽しかったです。皆さん、お疲れ様でした！

From Rokkasho with love, Jenny♡

2013年5月14日

皆さん、こんにちは。サンミです!

先週の週末、横浜町の菜の花フェスティバルに行ってきました。

17日の開花宣言から2日が経っただけなのに、
こんなに立派な黄色い光景が目の前に広がっていました。



韓国で菜の花の名所といえば、南にある「済州島(チェジュ島)」が有名です。

ソウルでも菜の花フェスティバルはありますが、私は今まで参加した事がないので
よこはまのフェスティバルは、とても印象的でした。

今回は「菜の花マラソン大会」に友達4人が参加しましたが

私は走るのが苦手なので、皆が走っている間ずっと食べ歩きをしていました。

(アワビの串カツ、ホタテの串カツ、うにめしのコロッケなど～)

会場には六ヶ所村の商工会のブースもありました。

盛り上がっていましたね～

美味しいものと、綺麗な景色、いい天気…何もかも良かったです

その中で、もう一つ嬉しかったのは

2年前六ヶ所高校を卒業して、今は立派な社会人になった礼人君に会った事です。

彼は私が六ヶ所村に来た初めての年に、韓国ホームステイに参加したメンバーです。

声をかけてくれる人の数は、ここで過ごす時間と共にこれからも増えていくでしょう。

これからも、もっと様々な活動を展開していきたいと思いました!

ちなみに、6月の毎週水曜日(午後2時～3時)には、泊地区の「ふれあいセンター」で

期限限定の韓国語講座があります。皆さんの参加をお待ちしております。



From Rokkasho with love, Sangmi♡

2013年5月30日

皆さん、こんにちは！

ご存知かと思いますが、六ヶ所村に住んでいる外国人は毎年5月に村内の戸鎖地区で、「田植え体験」を行います。私は去年の「稲刈り体験」に参加しましたが、田植えは初めてでした。「ただ植えるだけで、驚くことはないでしょう」と思いましたが、やっぱりびっくりしたことがたくさんありました。

以前から、田植えを始める前に、神様のために儀式を行うと聞いていましたが、まさか食べ物をお供えするとは思いませんでした。もちろん意味があって、いいことだと思いますが、同時にいつもその食べ物は後でどうなるか、とても気になります（捨てますか？置いておきますか？それとも食べますか？）。残念ながら、田植えに夢中になって、食べ物はどこに行ってしまったか観察できませんでした。

そして、「植える」こと自体も思っていたより難しかったです。長靴を履いていましたが、泥から足が抜けなくて、何回も倒れそうになりました。友達の手を掴んだりして、何とかりましたが、やっぱり最後の最後に長靴が脱げてしまって、左足がボチャンと泥に浸りました（不器用である私が無事に田植えを終わらせることができた方が、びっくりするかもしれません...）。

また、日本人がいつも「まじめで、礼儀正しい」と思われることについて、改めて疑問に思いました。外国人も日本人もお互いに倒したり、汚したりして、子供のように泥で遊んで、いたずらを楽しみました。ずっと笑い声や叫び声が聞こえていて、本当に楽しかったです。



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2013年6月4日

こんにちは。サンミです!



皆さん、こんなベンチを見た事ありますか？
ちょうど真ん中のところが凹んでいるこのベンチ！
ケンカした2人も、まだ親しくない2人もここに座れば、自然に仲良くなります！
この写真は韓国ソウルの「Nソウルタワー」で撮影したのですが、
この形のベンチは他の場所にもあるみたいです。
ちなみにベンチの後ろにあるものはすべて錠と鍵！
このタワーは愛を誓う恋人たちの聖地のようなところです。



From Rokkasho with love, Sangmi♡

2013年6月11日

皆さん、こんにちは！

ジェニーです。

6月に入って、六ヶ所村のことをドイツ人に紹介する新しいブログができました。テーマは六ヶ所村での日常生活やイベント、ドイツ人として不思議に思ったことなどです。

記事は一応ドイツ語で書きますが、日本語の翻訳文も入れますので、よかったら是非読んでください！

* 国際交流員ジェニーのブログ『 Leben in Rokkasho! 』はこちらから↓

六ヶ所村トップページ → 村の紹介 → 国際交流 → ドイツ・ヴァーレン市

From Rokkasho with love,

Jenny♡

2013年6月19日

皆さん、こんにちは！

先々週は、韓国国際交流員のサンミと日本人の同僚一人と一緒に六ヶ所高校の公開授業に行ってきました。六ヶ所高校にはたまに出前講座に呼ばれて行きますが、普通の授業は今まで見たことがなかったので、とても楽しみにしていました。

授業の様子はほとんどドイツに似ていましたが、非常にびっくりした科目がありました。それは体育の授業でした。

まずはウォーミング・アップですが、ドイツでは大体走るだけですが、六ヶ所高校では体操が行われました。ドイツで声を出して、皆が同時に動くことは全然しないので、「アジアらしいな～」と思いました。

そして、ドイツでは、体育と言えば「サッカー」、「バレーボール」、「バスケットボール」や「陸上」ですが、六ヶ所高校は今回「行進」の練習でした。「行進」と言えば『軍隊』のイメージしか出てこなくて、「スポーツ」として見たことがなかったです。最初は皆がとてもまじめな顔をして、「日本では体育があまり楽しくないのかな」と思いましたが、少し時間が経ったら、笑顔が増えて、ほっとしました。「準備体操」や「行進」をすることによって、ドイツで時々不足していると言われる「一体感」も強くなるかなと思いました。



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2013年6月19日

Blog Entry 40 お土産の思い出

皆さん、こんにちは。サンミです!

今日は日本のお土産について話したいと思います。

日本のお菓子は味も美味しいですが、箱や包装もとてもきれいです。
見ているとつい買いたくなるものばかりで、
お菓子が大好きな私は、出かけるたびに必ず何かを買ってしまうのです。
特に、地域限定とか期間限定のものには目が無くて困ります。



これらは最近いただいたお土産です。

東京バナナからラーメンまで、全部美味しかったです。

でも、個人的には東京といえば未だに「ひよ子」を思い出します。

初めての日本旅行の時に買った「巨大ひよ子」がずっと印象に残っているからだと思います。

そして青森といえば、アップルパイ。

私は六ヶ所に来る前にも青森に来た事があります。

もはや6年前になってしまった2007年の春でした。

あの時、アスパムで販売しているアップルパイを食べながら見た
綺麗な青い海は今も忘れられないです。

アップルパイは、私にとってとても懐かしくて、大事な思い出の一部です。

皆さんにも思い出のお土産がありますか？

From Rokkasho with love, Sangmi♡

2013年6月26日

